

株主のみなさまへ

第8期 中間株主通信

2014年4月1日から2014年9月30日まで



ダイキョーニシカワ株式会社

証券コード：4246



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社の第8期第2四半期連結累計期間（2014年4月1日から2014年9月30日まで）の連結業績につきまして、ご報告申し上げます。

2014年12月

代表取締役社長 岡 徹

第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間（2014年4月1日～2014年9月30日）の連結業績は、売上高につきましては主要販売先からの受注増に加え、新製品を量産する国内子会社（2013年9月量産開始）及びメキシコ子会社（2014年1月量産開始）の売上寄与等により、前年同期に比べ11,798百万円（24.0%）増の60,866百万円となりました。

一方利益面につきましては、新製品を量産する国内子会社及び海外子会社の減価償却費負担や国内での新製品量産のための準備費用、設備・金型投資に伴う減価償却費の増加等もありましたが、増収効果に加えコスト低減効果等により、営業利益は前年同期に比べ492百万円（13.4%）増の4,180百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期に比べ425百万円（11.8%）増の4,027百万円となりました。四半期純利益は前年同期に比べ278百万円（13.3%）増の2,373百万円となりました。

通期の業績見通しについて

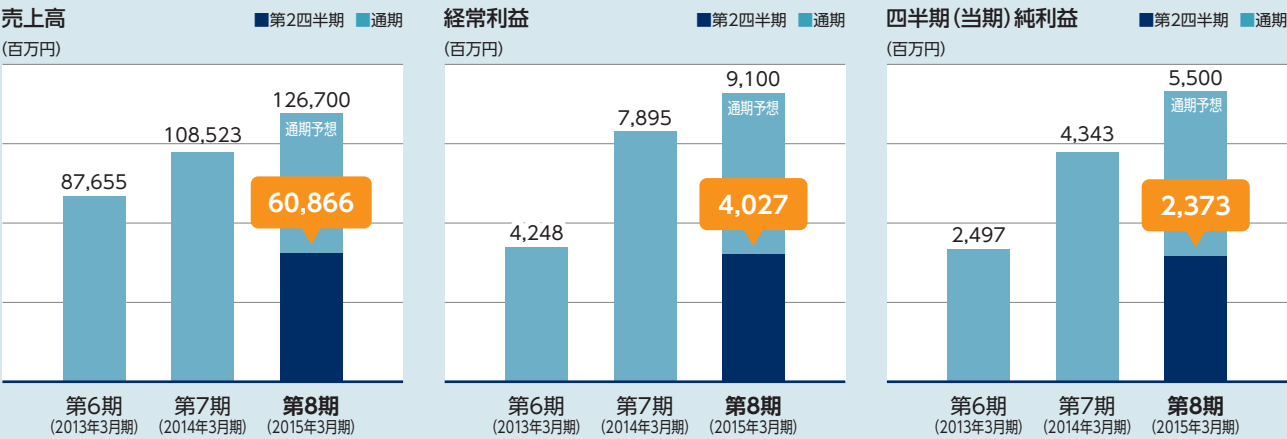
通期の業績につきましては、主要販売先からの受注増や新製品を量産する子会社の売上寄与等に加え、コスト低減効果等により、前回発表の業績予想を上回る見込みとなりました。売上高1,267億円（前期比16.7%増）、営業利益96億円（同21.0%増）、経常利益91億円（同15.3%増）、当期純利益55億円（同26.6%増）を見込んでおります。

配当について

中間配当につきましては、2014年11月12日開催の取締役会において、一株につき22円50銭とすることを決議いたしました。

連結決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights



自動車の内装部品

インストルメントパネル

当社では、これまで培ってきた実績と、高い技術力、多彩な生産設備により、自動車に関わるあらゆる樹脂部品を提供しています。

今回は当社の主要製品の一つである、内装部品のインストルメントパネルをご紹介します。

インストルメントパネルとは？

インストルメントパネルは、運転席の前面の計器盤を支える構造体です。運転に必要なメーター類、操作装置、空調装置、オーディオ装置、グローブボックス(物入れ)等が装備されたものです。

当社ではハードインストルメントパネルから、ウレタンを注入したソフトインストルメントパネルまで、様々なグレードに対応できる技術を有しており、また、幅広い加工技術も保有しています。

製造工程では地球環境保全にも積極的に取り組み、ウレタン注入インストルメントパネルでは、成形後の**トリム工程**を必要としないNew Trim Less工法の量産化により、産業廃棄物を無くしています。



トリム工程とは？

インストルメントパネルの成形後に、はみ出した余分なウレタンや表皮等を切り取る工程です。

マツダの新型デミオに採用

当社のインストルメントパネルは、マツダの全車(軽自動車は除く)に採用されており、当社の開発本部が設計段階から携わっています。

9月に発売された新型デミオにも、当社の製品が採用されました。デザインと質感にこだわって、しなやかで美しいフォルムを実現しています。グレードの高いデコレーションパネルを搭載しており、高級感を兼ね備えたハイクオリティなインストルメントパネルです。





この工場で作っています

インストルメントパネルを作っている、広島市安佐北区にある可部工場と、山口県防府市にある鶴浜工場をご紹介します。



可部工場



可部工場は、広島市の北部に位置し、鮎で有名な太田川と、名水にも選出されている根谷川が近くを流れ、自然豊かな環境の中にあります。

工場稼働当初は、バンパーやスポイラー等の成形から塗装・組立まで行なっていましたが、現在はインストルメントパネルの生産を中心とした工場です。

【可部工場概要】

所在地：広島県広島市安佐北区可部南2丁目25-31

主要生産品目：インストルメントパネル、エンジンカバー

竣工稼働：1961年

従業員数：205人

敷地面積：36,999㎡

鶴浜工場



鶴浜工場は防府市の鶴浜鉄工団地内にあります。ウレタン技術、パウダースラッシュ技術を駆使した、インストルメントパネルやドアトリムの内装専門工場として、1992年に操業を開始しました。

インストルメントパネル製品の成形から塗装、組立まで一貫した物づくりを行っており、最小のリードタイムで納入しています。在庫は最小限に抑え、スピーディーに生産、納品することを追求している工場です。

【鶴浜工場概要】

所在地：山口県防府市浜方字鶴浜287-14

主要生産品目：インストルメントパネル、シュラウドパネル、デコレーションパネル

竣工稼働：1992年

従業員数：230人

敷地面積：35,688㎡

特集 | プラスチックのおはなし

ダイキョーニシカワの強み

ダイキョーニシカワは、開発から品質保証までを手掛ける提案型の総合プラスチックメーカーです。

プラスチックの可能性や、当社の多彩な技術、開発にかける熱い思いと情熱、ダイキョーニシカワのSpiritをお伝えします。

第1回 | 金属から樹脂へ

「車は鉄のかたまりだ」そう思われていませんか？車の部品に触ったり、叩いて音を確認してみてください。「あれ？鉄だと思っていたけれど、ここは違う」と気付かれるものも多いと思います。1台の車は約3万点もの部品からできています。鉄以外にも、アルミニウム、銅、鉛、錫、亜鉛といった金属のほか、ガラスや繊維、皮革、ゴム、樹脂など、様々な材料が使われているのです。そして今、樹脂を使った部品の割合はどんどん増えてきています。

ダイキョーニシカワは車の樹脂部品を作っている会社です。今まで金属製が「当たり前」だった部品を、樹脂で作ることはできないか？常識を覆す柔軟な発想と、決して諦めない弛まぬ努力で日々研究と試行錯誤を重ね、「樹脂製は不可能」と思われていた部品の開発に意欲的に取り組んできました。



美しい発色やツヤを保てるボディ外板、強度を求められるシュラウドパネルなど、「えっ!?こんなところも?」と思われる部品も、ダイキョーニシカワでは樹脂化に成功しています。

環境を配慮し、より低燃費を実現するため、車の軽量化は欠かせません。樹脂は金属より軽いので、燃費の向上に大いに貢献しています。また、樹脂は金属と違って錆びないことも大きな特長の一つです。さらに、ボンネットフードやバンパーなどは、樹脂にすることで万が一の時の歩行者保護性能も高まります。バックドアや、フェンダーなど、ダイキョーニシカワの技術が詰まった樹脂ボディ部品を搭載したクルマは、もう身近に走っています。

ダイキョーニシカワは、これからも「金属から樹脂への置き換え」に挑戦し続けます。

● 金属から樹脂に置き換えた主な部品



バンパー

自動車の前端及び後端に取り付ける緩衝装置。衝突時の衝撃を吸収し車体の損傷を防ぐ。



シュラウドパネル

バンパーの後ろに隠れているラジエータを保持するパネル。



インテークマニホールド

エンジンに空気を送るための管。



オイルストレーナー

オイルポンプに吸引されるエンジンオイル内の大きな異物を取り除くためのメッシュ状の濾過装置。



ダイキョーニシカワ 開発担当者に聞く



車の部品を金属から樹脂に置き換える上で、一番大変なことは何ですか？



部品にもよりますが、エンジンルーム内の部品ですと、高温と振動に耐えられなければなりません。オイルストレーナーなどは、常にオイルにさらされているので、元々はオイルに弱い樹脂を、いかに耐えうるものにできるかが腕の見せ所です。



樹脂は強度には問題ないのですか？



厳しい検査をクリアしています。当社には長年蓄積したデータとノウハウがあり、当社独自の開発技術力で、優れた強度を実現できています。



今後はどんな部品が樹脂に置き換わっていきますか？



当社の目標は、オール樹脂の車の開発を提案することです。ハードルはかなり高いですが、チャレンジしていきたいと思います。現在は樹脂ガラスの開発に注力しています。従来のガラスと判別がつかないほどの樹脂製ガラスをお披露目できる日も、そう遠くないと思います。楽しみにしてください。

最新の外板樹脂パーツ

今年6月に発売されたダイハツの新型コペンは、着脱構造により外板の着せかえを可能にした、新発想のスポーツカーです。ボディの外板を樹脂にし、購入後でも服をコーディネートする感覚で、自由に外板を「着せかえ」られます。

外板は13個の樹脂パーツで構成されており、そのうちの11部品を交換することができます。この樹脂パーツにも、軽くて、しかも形状を自由に加工できる樹脂ならではの特性と、樹脂を知り尽くしたダイキョーニシカワの技術が活かされています。



樹脂外板部位

写真はダイハツ工業株式会社ホームページより引用

着脱可能部品

会社・株式データ

会社概要

(2014年9月30日現在)

社 名	ダイキョーニシカワ株式会社	役 員	代 表 取 締 役 社 長	岡 徹	取 締 役	中 野 雅 文
本 社	広島県安芸郡坂町北新地一丁目4番31号		代 表 取 締 役 副 社 長	数上 富美高	取 締 役	久保田 洋志
設 立	2007年4月1日		取締役 副社長執行役員	福 島 茂 夫	常 勤 監 査 役	福 島 渉
資 本 金	43億8,542万3,500円		取締役 副社長執行役員	正 原 利 朗	監 査 役	蔵 田 和 樹
従業員数	4,382名（連結）		取締役 専務執行役員	隠 野 雅 和	監 査 役	安 村 和 幸
			取締役 専務執行役員	横 田 善 博		

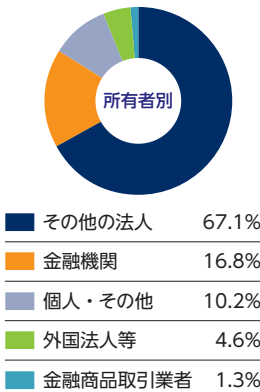
株式の状況

発行可能株式総数	59,176,000株
発行済株式の総数	18,094,100株
単元株式数	100株
株主数	1,878名

大株主

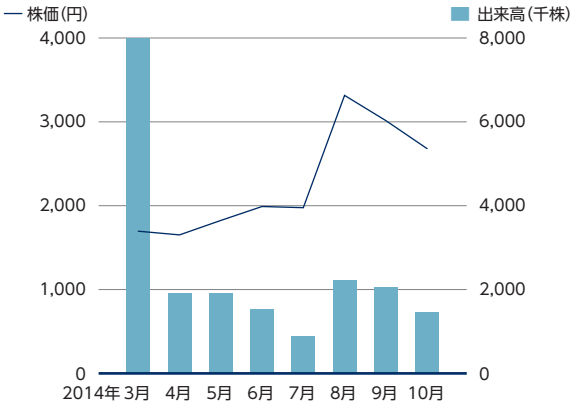
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
HCP-1号投資事業有限責任組合	3,618,890	20.0
西川ゴム工業株式会社	2,958,800	16.4
株式会社イノアックコーポレーション	981,150	5.4
三菱商事プラスチック株式会社	981,150	5.4
株式会社広島銀行	904,600	5.0
住友商事株式会社	893,420	4.9
三井物産株式会社	805,680	4.5
マツダ株式会社	739,700	4.1
ダイキョーニシカワ社員持株会	718,709	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	684,000	3.8

株式分布状況



(2014年9月30日現在)

株価・出来高



※株価は月末の終値を示しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
剰余金の配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777（平日9:00～17:00）

同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公告掲載方法	電子公告 http://www.daikyonishikawa.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。



ダイキョーニシカワ株式会社
TEL:082-885-9979

